

29
エレミヤ書
聖徒伝 250

心地よいのが 偽預言

エレミヤ書 29章

バビロンへの手紙

アウトライン

0. イントロダクション

I. バビロンへの手紙 1～15

II. 二人の偽預言者 16～23

III. もう一人の偽預言者 24～32

IV. まとめと適用

偽預言の心地よさと

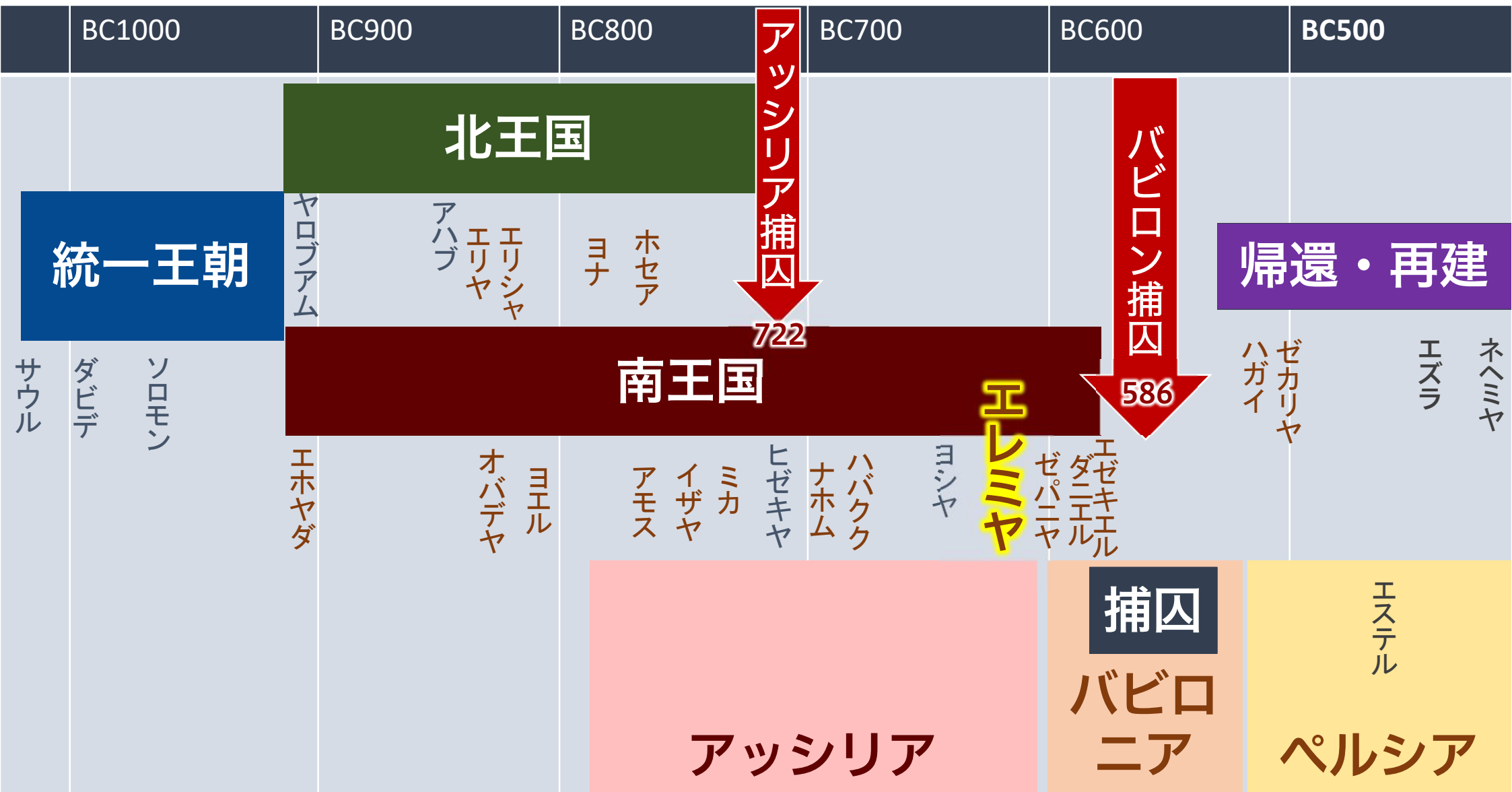
御告げの厳しさ





0. イントロダクション

イスラエル王国史



バビロニア年代記・ネブカドネツアル王のユダ侵略

■ BC605 …エホヤキム王の時、初めてエルサレムに侵攻。

第一次バビロン捕囚 …ダニエル

■ BC597 …エホヤキン王の時、エルサレムを包囲、占拠。
有能な市民をバビロンに連れ去る。ゼデキヤ王を傀儡に。

第二次バビロン捕囚 …エホヤキン王、エゼキエル

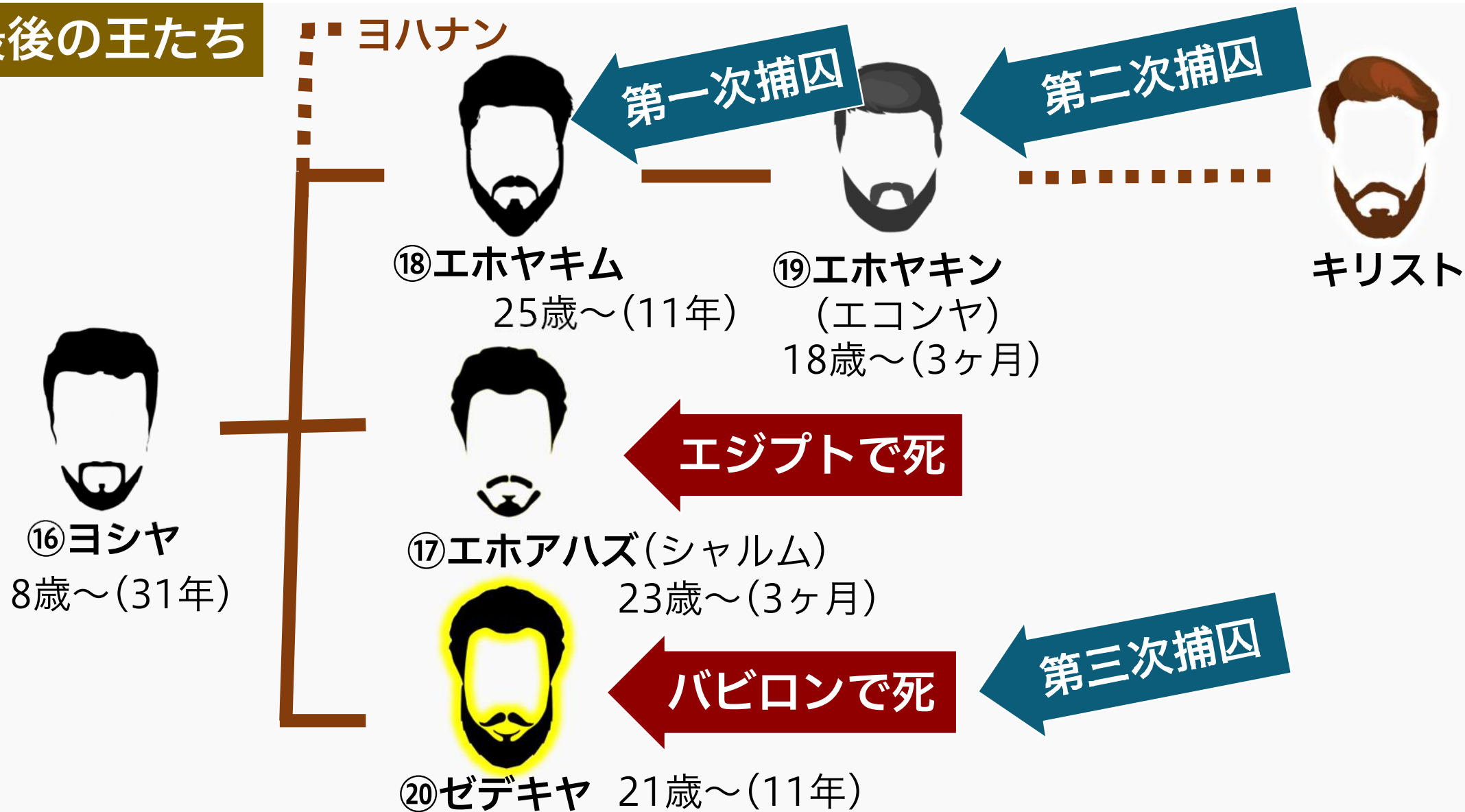
■ BC589 …ゼデキヤ王の反逆に対し、再びエルサレムを包囲。

■ BC587(586) …エルサレム陥落。完全な壊滅。神殿も破壊。
エルサレムの住民の多くが捕囚としてバビロンへ。

第三次バビロン捕囚 …ゼデキヤ王(処刑)

ここ

最後の王たち





Ⅰ. バビロンへの手紙

エレミヤ書29章1～15節

バビロンの浮彫・朝貢

手紙 バビロンへの手紙 エレ29:1

預言者エレミヤは、ネブカドネツアルがエルサレムからバビロンへ引いて行った捕囚の民、すなわち、長老で生き残っている者たち、祭司たち、預言者たち、および民全体に、エルサレムから次のような手紙を送った。

■ BC597の捕囚で、すでに大勢の人々がバビロンに連行されていた。



手紙

使節に託して エレ29:2～3

この手紙は、**エコンヤ王***、王母、宦官たち、ユダとエルサレムの首長たち、職人、鍛冶がエルサレムを去った後、ユダの王ゼデキヤが、バビロンの王ネブカドネツアルのもと、バビロンへ遣わした、**シャファンの子エルアサとヒルキヤの子ゲマルヤ***の手に託したもので、そのことばは次のとおりである。

＊**エコンヤ(エホヤキン)王**

■ゼデキヤ王がバビロン王に送った使節に、エレミヤが直接、託したのだろう。



奨励

そこで増えよ エレ29:4～6

「イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。『エルサレムからバビロンへわたしが引いて行かせたすべての捕囚の民に。

家を建てて住み、果樹園を造って、その実を食べよ。

妻を迎えて、息子、娘を生み、あなたがたの息子には妻を迎え、娘を嫁がせて、息子、娘を産ませ、**そこで増えよ。減ってはならない。**

■ 捕囚の地でも、約束の民の子孫を絶やすな。

➡ 裏返せば、主の守りがあるということ



奨励

その町のために祈れ エレ29:7

わたしがあなたがたを引いて行かせた、その町の平安を求め、その町のために【主】に祈れ*。その町の平安によって、あなたがたは平安を得ることになるのだから。』

- バビロンの捕囚の民のみならず、のちのすべての離散のユダヤ人への励ましに。
- 望まない地であったとしても、置かれた地の平安を祈り、生きること!!



奨励

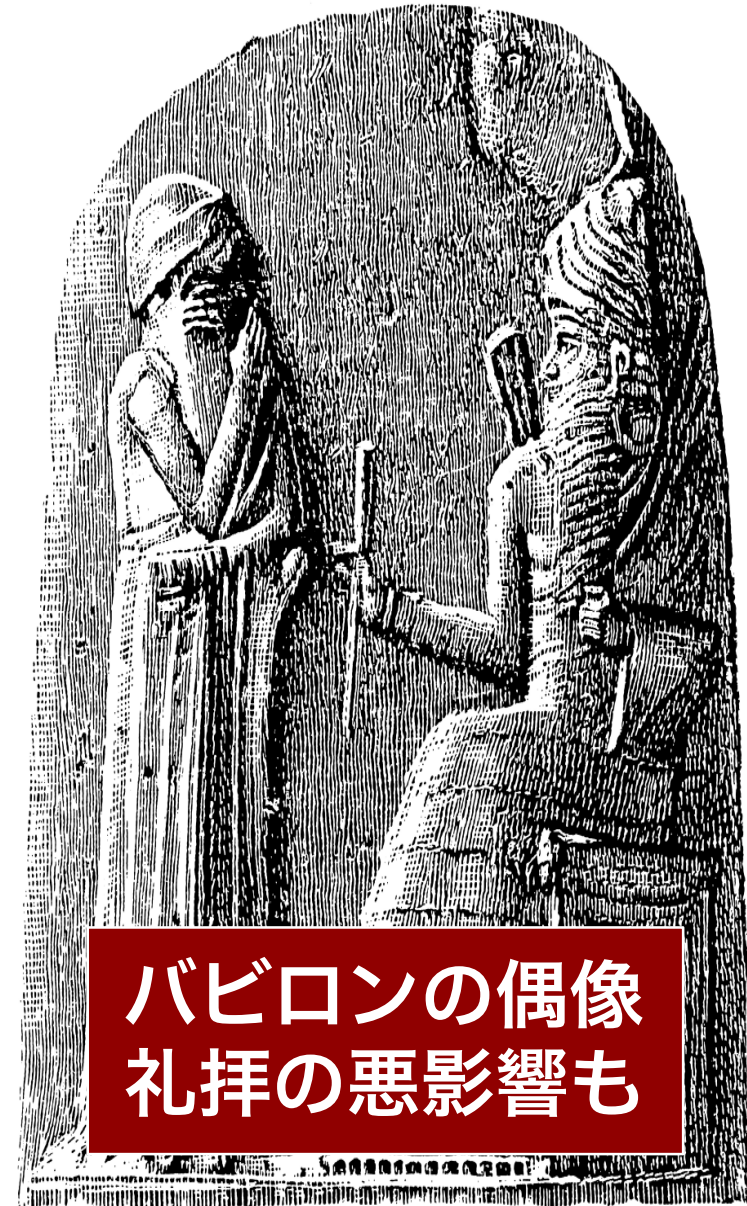
偽預言者の警告 エレ29:8～9

まことに、イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。『あなたがたのうちにいる預言者たちや、占い師たち*にごまかされるな。また、あなたがたが見ている夢に聞き従ってはならない。

なぜなら、彼らはわたしの名を使って、偽りをあなたがたに預言しているからだ。わたしは彼らを遣わしていない—【主】のことば』

■ 捕囚の民の中にも、偽預言や呪術師*が。

➡ あてにならないのが、自分の夢・願望



バビロンの偶像
礼拝の悪影響も

奨励

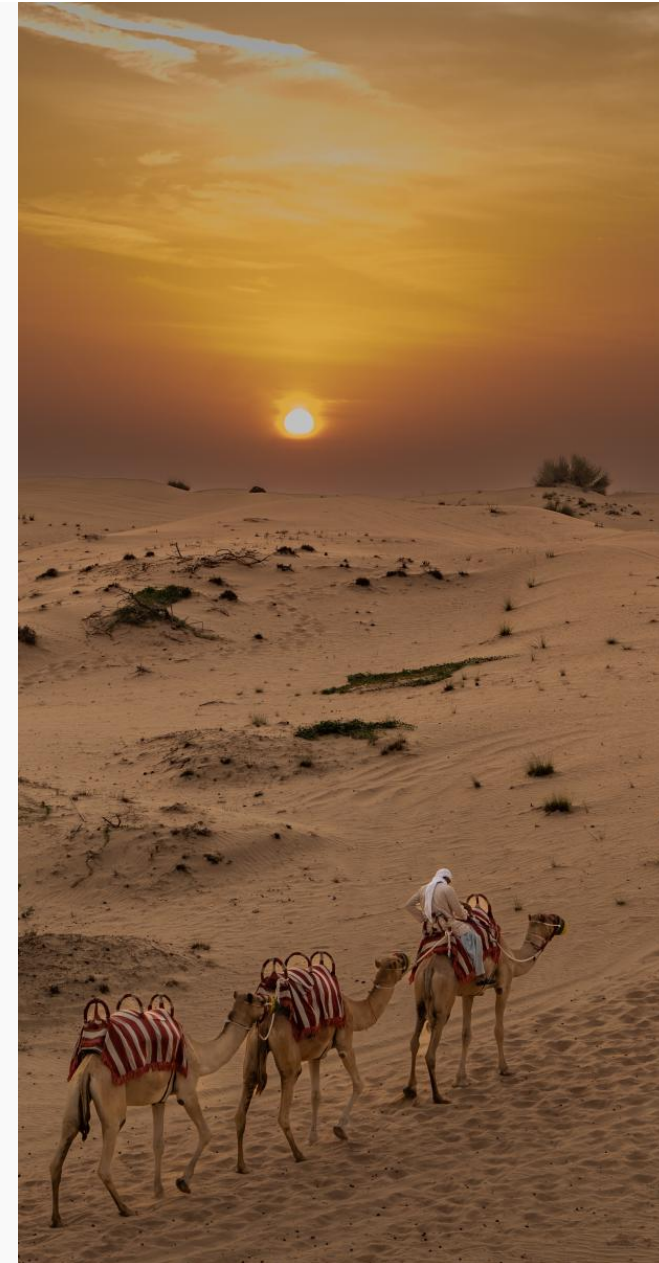
七十年目の解放 エレ29:10～11

まことに、【主】はこう言われる。『バビロンに七十年が満ちるころ*、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。

わたし自身、あなたがたのために立てている計画*をよく知っている―【主】のことば―。それはわざわざではなく平安を与える計画*であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

*民の希望に!! ダニエルも知った(ダニ9:2)

*主は懲らしめにとどまらず、解放の計画をも!!



奨励

心を尽くして祈れ エレ29:12～13

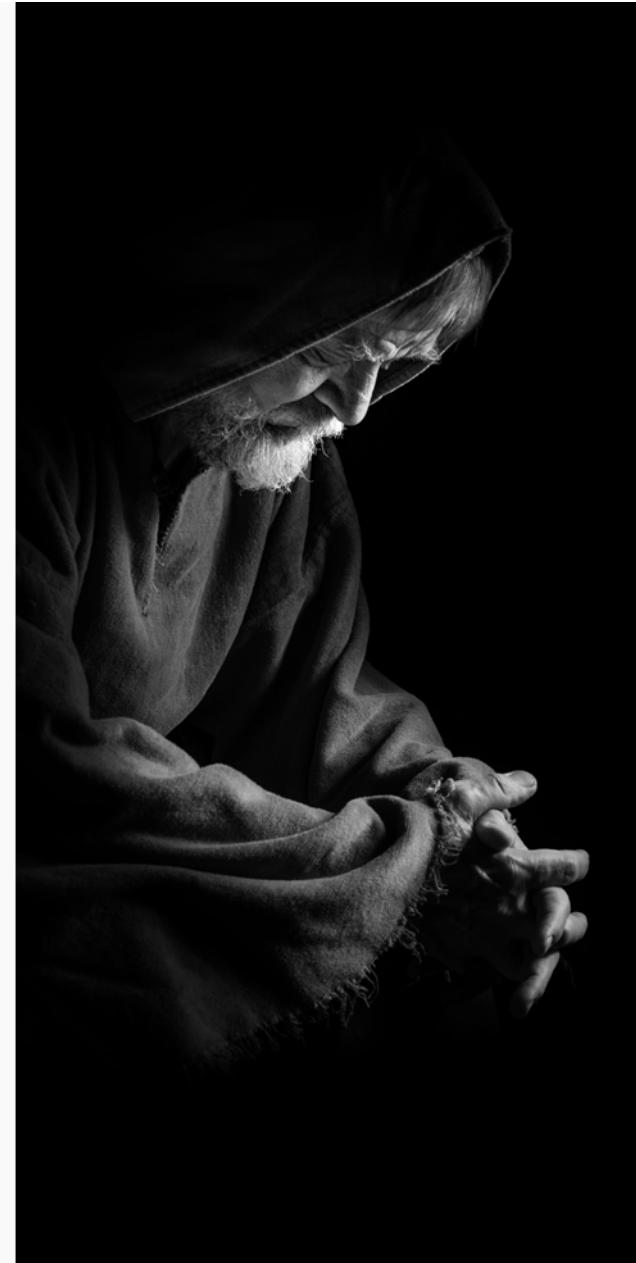
あなたがたがわたしに呼びかけ、来て、わたしに祈るなら*、わたしはあなたがたに耳を傾ける。

あなたがたがわたしを捜し求めるとき、心を尽くしてわたしを求めるなら*、わたしを見つける。

■ 祈りで求められるのは、主の前での誠実さ。

真摯に、心から主を呼び求めること。

「マタイ7:7 求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」



奨励

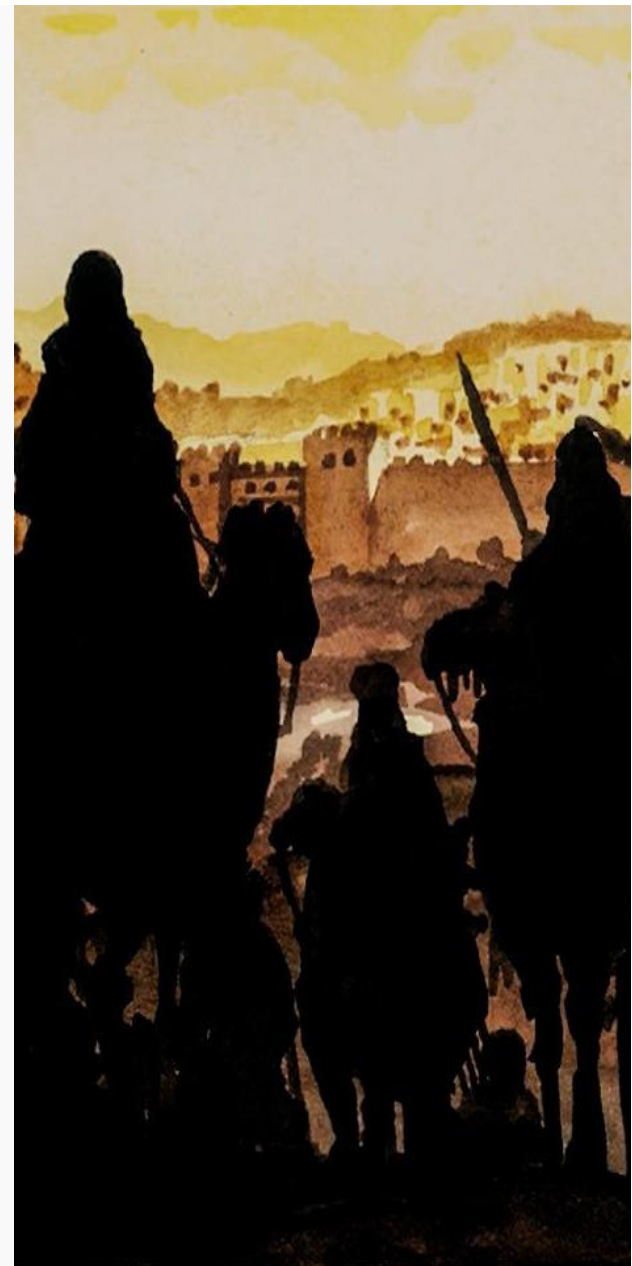
見出される神 エレ29:14~15

わたしはあなたがたに見出される—【主】のことば—。わたしは、あなたがたを元どおりにする。あなたがたを追い散らした先のあらゆる国々とあらゆる場所から、あなたがたを集める*—【主】のことば—。わたしはあなたがたを、引いて行った先から元の場所へ帰らせる。』

＊究極的な成就是、大患難時代の民族的回心

➡再臨のメシアによって、永遠の帰還へ

捕囚の民は、大きな慰めを得た





Babylon

II. 二人の偽預言者

エレミヤ書29章16～23節

バビロン・イシュタル門

警告

偽預言者 エレ29:15

あなたがたは、『【主】はバビロンで、
私たちのために預言者*を起こされた』
と言っていた。

＊捕囚の民が頼ったのは、偽預言者たち
➡エルサレムのハナンヤは、
2年内の解放を告げていた(28章)



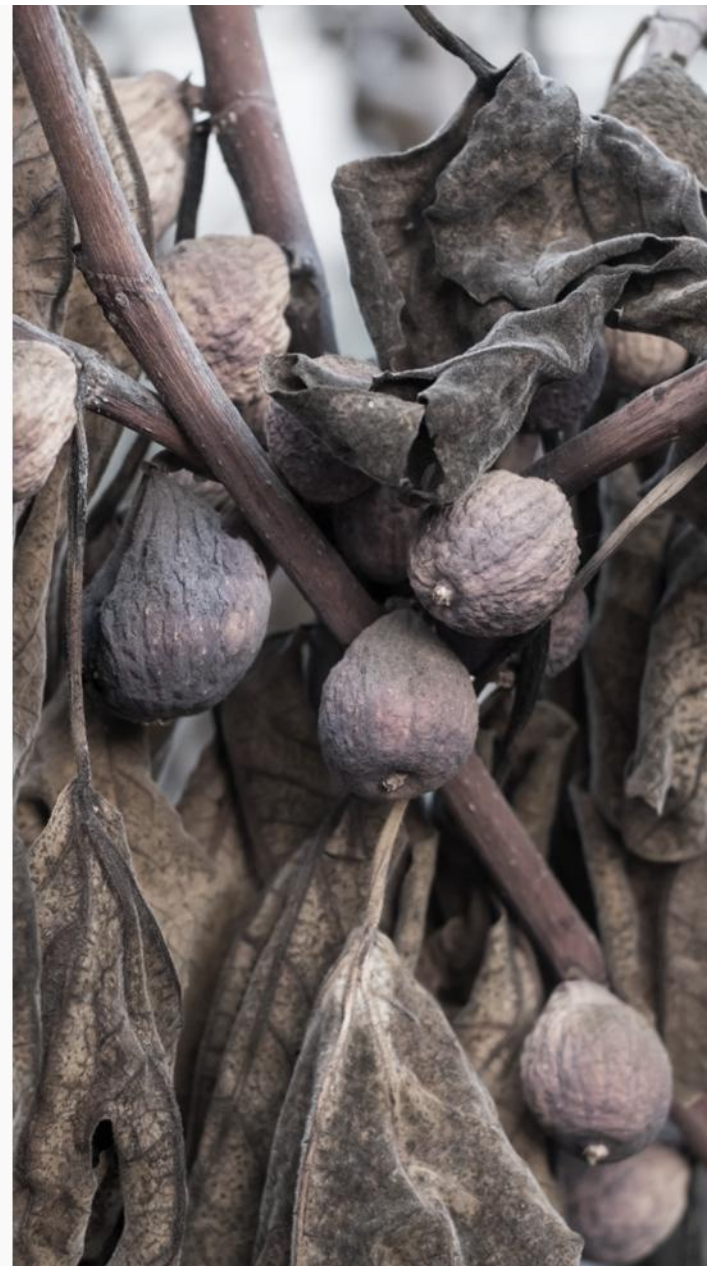
警告

真の御告げ エレ29:16~17

まことに、【主】はこう言われる。ダビデの王座に着いている王と、この都に住んでいるすべての人々と、捕囚としてあなたがたとともに出て行かなかったあなたがたの同胞について、万軍の【主】はこう言われる。『見よ。わたしは彼らの中に剣と飢饉と疫病を送り、彼らを悪くて食べられない腐ったいちじくのようにする』

■ 偽預言にすぎり、主の裁きである捕囚に抗った者たちは、悲惨な目に!!

➡ 待ち構えるのは壊滅的な滅び(BC586)



警告

背信者への裁き エレ29:18～19

『わたしは剣と飢饉と疫病で彼らを追い、彼らを地のすべての王国にとっておののきのもととし、わたしが彼らを追い散らした先のすべての国々で、のろいと恐怖のもと、嘲りとそしりの的とする。』

彼らがわたしのことばを聞かなかったからだ——【主】のことば——。わたしは彼らに、わたしのしもべである預言者たちを早くからたびたび遣わしたのに、あなたがたは聞かなかったのだ——【主】のことば。』

「主に聞かない」という罪の重さ



警告

偽預言者の死 エレ29:20～21

私がエルサレムからバビロンへ送ったすべての捕囚の民よ、【主】のことばを聞け。

『イスラエルの神、万軍の【主】は、わたしの名によってあなたがたに偽りを預言している、**コラヤ***の子アハブと、**マアセヤ***の子ゼデキヤについてこう言う。見よ。わたしはこの者たちを、バビロンの王ネブカドネツアルの手に渡す。王は、あなたがたの目の前で二人を打ち殺す』

＊“ヤハウエの声” ＊“ヤハウエの働き”

■ 悪名高き二人の偽預言者の死が告げられる。



警告

偽預言者の呪い エレ29:22～23

バビロンにいるユダの捕囚の民はみな、彼らのゆえに、次のような**のろい**のことばを唱える。

【主】がおまえを、バビロンの王が火で焼いたゼデキヤとアハブのようにされるように。

それは、二人がイスラエルの中で恥辱となることを行い、隣人の妻たちと姦淫し、わたしが命じもしなかった偽りのことばをわたしの名によって語った*からだ。わたしはそれを知っており、その証人である―【主】のことば』」

*姦淫も靈的姦淫も根は同じ。➡罪と悪



神に見捨てられる
= のろい



Ⅲ. もう一人の偽預言者

エレミヤ書29章24～32節

神殿の丘・黄金門

警告

偽りの手紙 エレ29:24～25

「あなたはネヘラム人*シエマヤに対して、次のように言わなければならない。

イスラエルの神、万軍の【主】は言われる。
あなたは、あなたの名によって、エルサレムにいる民全体と、マアセヤの子祭司ゼパニヤ*、および、すべての祭司に次のような手紙を送った。」

*“夢の人”…出身地？ 仇名(偽りの夢解き)？

*ゼデキヤ王時代の祭司

以前、エレミヤに王から派遣(エレ21:1)



警告

シエマヤの手紙 エレ29:26

『【主】は、祭司エホヤダ*の代わりに、あなたを祭司とされましたが、それは、あなたを【主】の宮の監督者に任じて、すべて気がふれて預言をする者*に対処し、そういう者に足かせや首かせをはめるため*でした。』

*ゼパニヤの前任の大祭司。

*シエマヤの言う“気が触れた預言者”とは…

*エレミヤも何度も捕らえられた



警告

シェマヤの手紙 エレ29:27～28

それなのに、なぜ、今あなたは、あなたがたに預言しているアナトテ人エレミヤを責めないのですか。

というのは、彼はバビロンの私たちのところに使いをよこして、捕囚は長く続くので、家を建てて住み、園を造ってその実を食べよ、と言ったからです。』」

■ エレミヤを偽預言者呼ばわりするシェマヤ。

➡ シェマヤもハナンヤ同様、

捕囚からの速やかな解放を告げていた



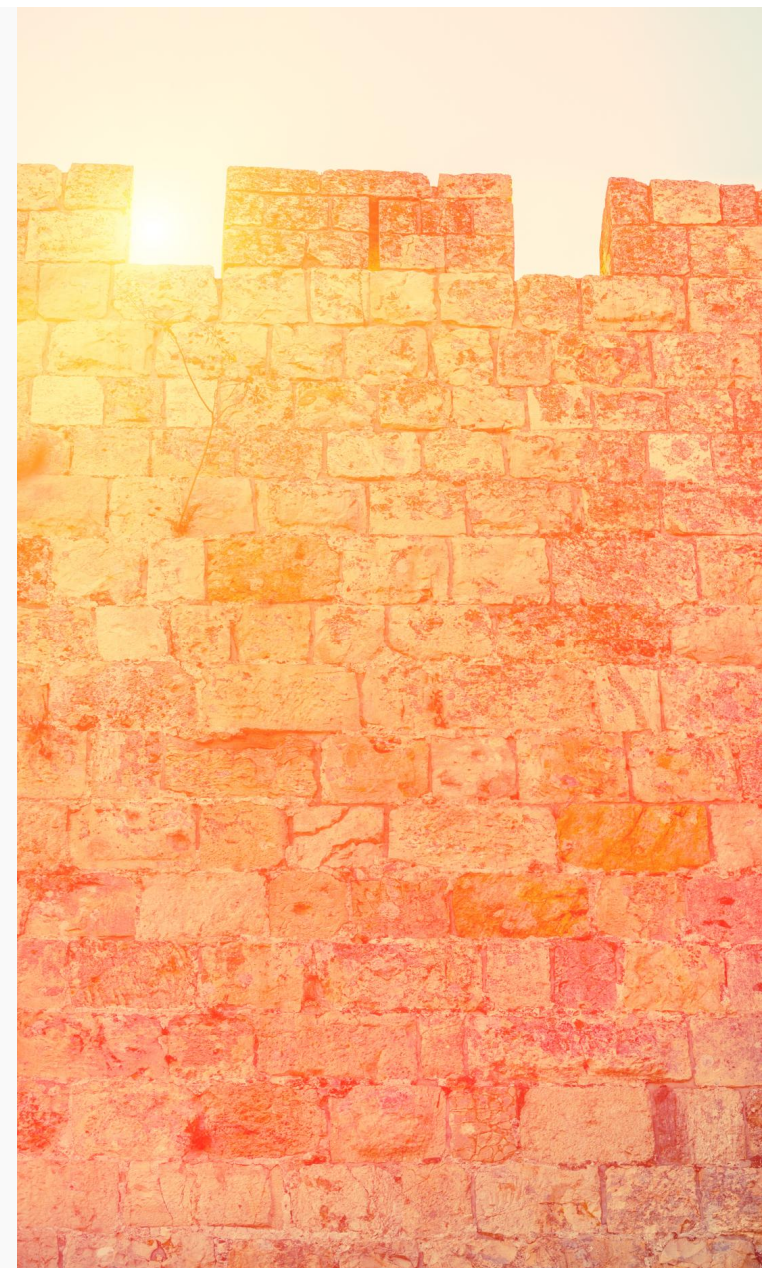
警告

シエマヤの手紙 エレ29:29～30

この手紙を、祭司ゼパニヤ*は預言者エレミヤに読んで聞かせたのだった。

そのとき、次のような【主】のことばがエレミヤにあった。

*エレミヤに中立な立場を保っていた？



宣告 真の偽預言者 エレ29:31

「すべての捕囚の民に言い送れ。

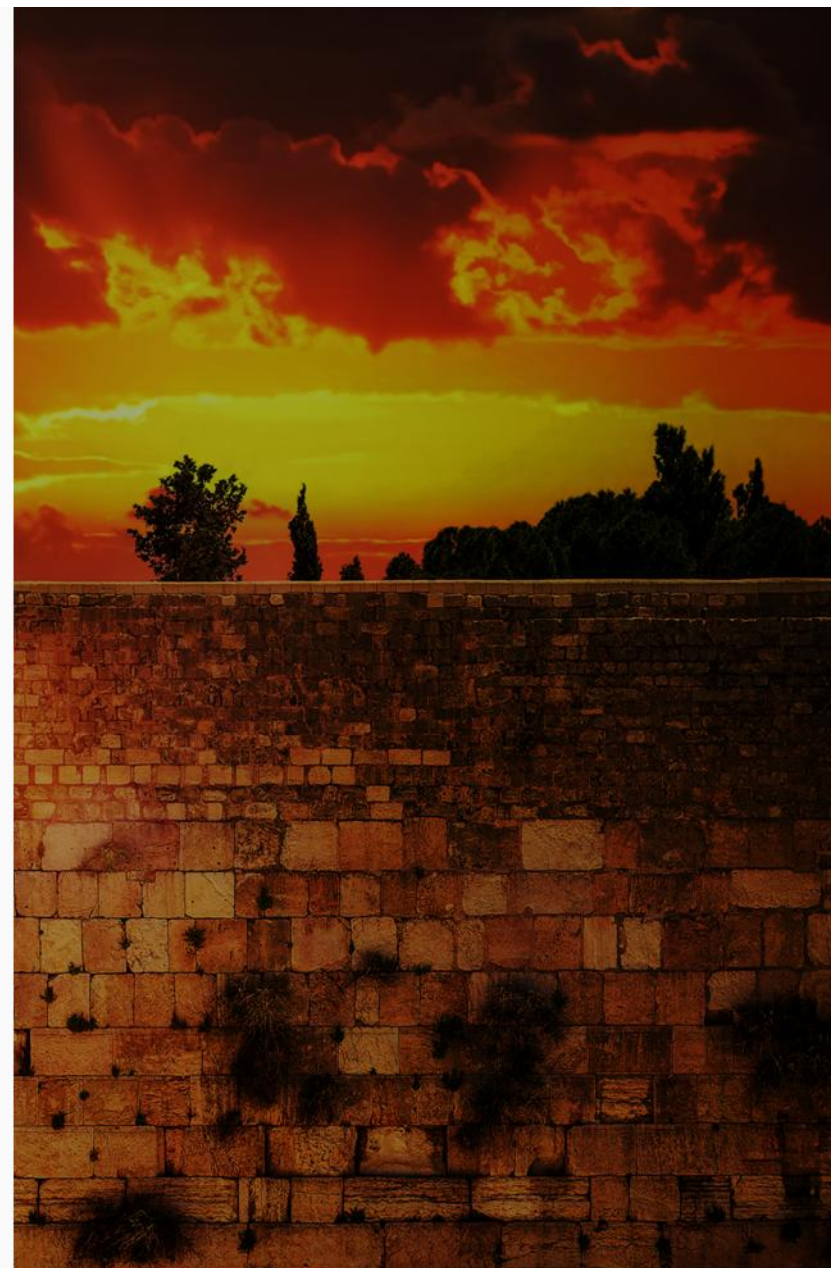
『【主】はネヘラム人シェマヤについてこう言われる。わたしはシェマヤを遣わさなかったのに、シェマヤはあなたがたに預言し、あなたがたを偽りに拠り頼ませた。』

＊「あなたを知らない」と言われるのと同様

■ シェマヤこそ、偽預言者だと明らかに!!

➡ 主に何の関係もないと言われてしまう

“預言者のつもり”でしかない者の悲劇



主イエスの警告

マタイ7:21～23

わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の**みこころを行う者が入る**のです。

その日には多くの者がわたしに言うでしょう。

『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。
『**わたしはおまえたちを全く知らない。** 不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』

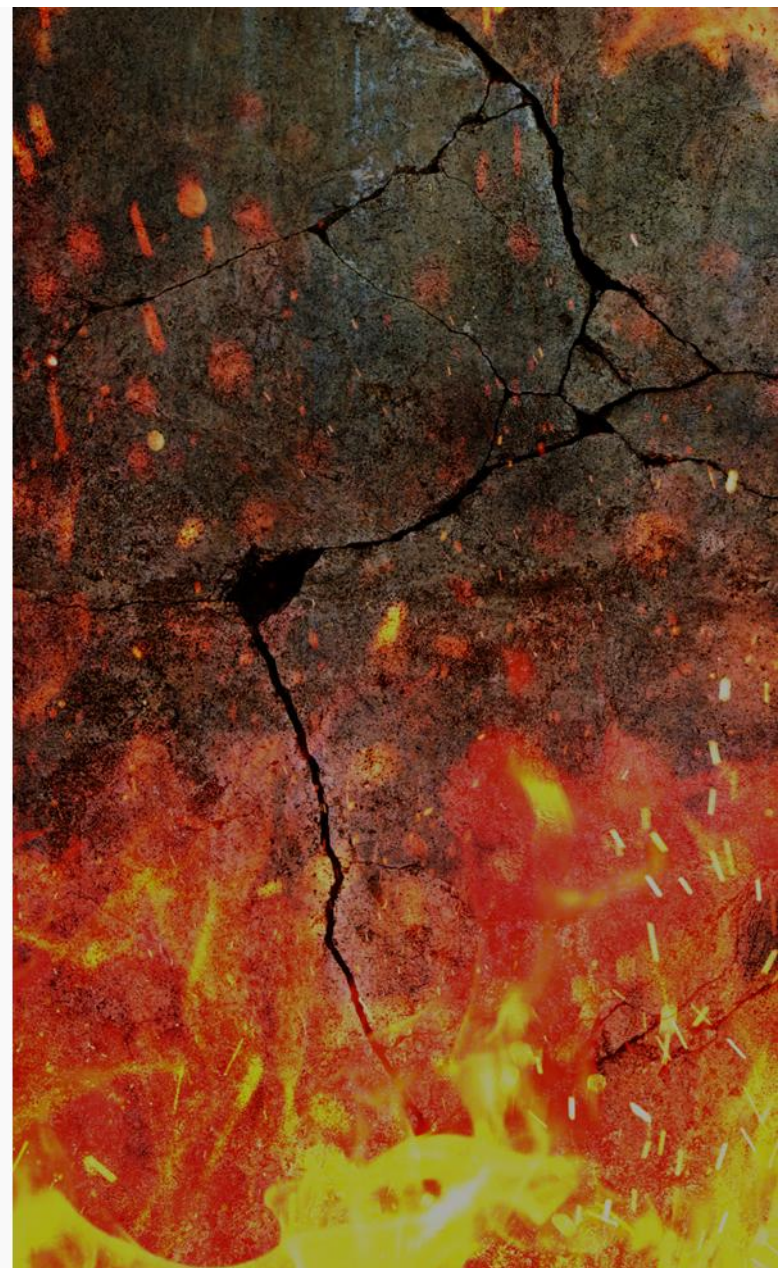
宣告


偽預言者の末路 エレ29:32

『それゆえ—【主】はこう言われる—見よ。
わたしはネヘラム人シェマヤとその子孫*を
罰する。彼に属する者で、この民の中に住ん
で、わたしがわたしの民に行おうとしている
良いことを見る者は、だれもいない—【主】
のことば—。彼が【主】への反逆をそそのか
したからである。』」

＊祭司の系譜から、一族ごと絶たれる

➡70年後には、誰も残っていなかった？
バビロン捕囚(BC586)で滅んだ?!





IV. まとめと適用

偽預言の心地よさと御告げの厳しさ

エルサレム・嘆きの壁

エレミヤと偽預言者たち

■エレミヤの告げたこと

…捕囚の地の平和を祈り、生活し、子を生み、育てよ。
解放は70年後にやってくる。

■偽預言者たちの告げたこと

…間もなく捕囚から解放される。
気がふれたエレミヤを捕らえよ。

➡火で焼かれ、一族を断たれ、悲惨な末路

イスラエルはなぜ、偽預言に惹かれたのか？

- イスラエルが聞いたがったのは、**御心**よりも**偽預言**
 - ➡ 70年間、異国で忍耐しなさい、ではなく、
 - ➡ すぐ解放される。嫌なところにいなくていい。
- 人が偽預言に惹かれる理由は、単純
 - ➡ 自分にとって心地よいこと、聞きたいことだから。

御心より、自分のお心を満足させたいのが私たち罪人

人はなぜ、偽預言を支持するのか？

- ① 自分自身にとって心地よいことだから
 - ② 人々との対立や軋轢を避けたいから
 - ➡ 他者の罪を指摘して喜ばれることはない
 - ➡ 心地よく好きにさせておけば、自分も楽
「支持されてる」と、当人はますます思い上がる
- 信仰者を自認するプライドの高い人の罪を指摘すれば、どんな目にあうかは、エレミヤが示している通り。

偽善者に偽善と告げれば、激しい怒りを買うことに!!

消極的御心に、ご用心!!

- 御心でないことを、主が容認されることがある(消極的御心)
例) 時でないのに王を願ったイスラエル(1サム8章)

① 消極的御心には刈り取りがある

例) サウル王がもたらした混乱、災厄

② 消極的御心さえも、主の計画のために用いられる。

例) サウルの迫害下で信仰を磨かれたダビデ

- 思い通りに進んでいるから、御心だなんて言えるのか？

目に見える成功や繁栄が、御心の証拠とは限らない!!

御言葉に従う者の祝福をこそ覚えよう!!

- 神の民イスラエルには、避けがたい**罪の刈り取り**が!!
- 甘んじて**裁き**を受け、悔い改めた者に告げられた希望
➡ 70年後の解放。その地の平安を祈り、産み、育め
- **懲らしめ**は、私たちを立ち返らせるための父の愛。
➡ 悔い改めて立ち返る者を、主が喜んで招き入れられる
主イエスが、放蕩息子のたとえで示されたように!!

消極的御心からの 放蕩息子のたとえ

■ 父が弟息子に財産の半分を与えた → 消極的御心

■ 弟息子の罪の刈り取り → 無一文で豚の世話

■ 弟息子の悔い改め → 罪を認め、父のもとに

■ 父のゆるし → 息子を抱き、盛大な宴会を開いた

テーマの核心 悔い改めて、赦された

御言葉に真摯に向き合おう!!

- 世の終わりが近づくほど、偽預言者、偽教師が激増。
心地よいメッセージにクリスチャンも群がっていく。
- つまみ食いでなく、飛ばさず聖書を読み進めていけば、
旧約も新約も、多くの言葉は、口に苦く、耳に痛い。
悔い改めを拒むのは自分のプライド。求められるのは謙遜。
- 誰よりも厳しい言葉を告げられているのは、
まぎれもなく、主イエスご自身だと突きつけられる。

主イエスの招きの本質

■ マタイ福音書11:28～30

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

わたしは心が柔和でへりくだっているから、**あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。**そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

■ 柔和にへりくだり、主に聞き従い、主のくびきを負い、学ぶ。

主の安らぎ、休息は、主に従う者にこそ与えられる

主イエスがあなたを招かれている

■ マルコ福音書8:34～37

「だれでもわたしに従って来なければ、**自分を捨て、自分の十字架を負って**、わたしに従って来なさい。

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、**わたしと福音のためにいのちを失う者は、それを救う**のです。

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。

自分のいのちを買い戻すのに、人はいったい何を差し出せばよいのでしょうか。」

★ 痛みをもって御心を受けよう ★

- 聖書に、ただ心地よいだけの御告げなどない。
主が、罪人である私たちに求められているのは、
悔い改めであり、立ち返り。
変革にも、成長にも、痛みが伴う。
- 最も厳しく、最も慈しみ深い、主イエスの呼びかけに
応えよう。永遠の祝福へと、私たちは招かれている。

主の慈しみと厳しさを身をもって味わわれる者は幸いだ

てん　　とう　　わたし　　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし　　かみ　　みこ　　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　　つみ　　あがな　　じゅうじか　　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　　ふっかつ　　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ　　いつく　　きび　　みことば　　とお　　こころ　　きざ
主の慈しみと厳しさを、御言葉を通して、心に刻みます。

く　　あらた　　はや　　もの　　ねが　　しゅ　　わたし　　くだ
悔い改めに早い者でありたいと願います。主が私を砕いてください。

しゅ　　まえ　　しゅ　　めぐ　　み
主の前にへりくだり、主の恵みでさらに満たされていきますように。

しゅ　　たし　　まも　　うち　　しゅ　　しめい　　つか
主の確かな守りの内に、主の使命に遣わしてください。

しゅ　　な　　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」